

社協だより

主な内容

- 地域支え合い講演会
- 赤い羽根共同募金について
- 活動報告ほか



まめな会（浦郷）さんの活動紹介



安全会（別府）さんの活動紹介

地域支え合い講演会
を行いました

9月11日、中央公民館ノアホールにおいて、役場健康福祉課と共催で地域支え合い講演会を開催しました。講師にご近所福祉クリエイターの酒井保先生をお招きし、人とのつながりや支え合いの大切さについて楽しく、わかりやすくお話していただきました。また、町内のボランティアグループの紹介も行い、今までの取り組みやコロナ禍での活動などが評価されました。

会場には約70名が来場し、終了後のアンケートでは「社会とのつながりの重要性が再認識できた」「地域の方が主役の講演会で良かった」などの感想がありました。

社会福祉協議会では、今後も住民の皆さんや関係機関と一緒に支え合いの町づくりに取り組んでいきます。



来場者の感想

- ・このような機会があると考えるきっかけになる。定期的に行ってほしい。
- ・まずは地域の一員として隣人への声かけ等できることから取り組んでいきたい。
- ・社会性の大切さを改めて実感できた。
- ・参考になるお話でした。社会性の低下が不健康につながることは実感できます。
- ・地域づくりに少しでも参加したいと思いました。
- ・今回参加していない人にどう伝えていくかは課題だと思います。



赤い羽根共同募金運動にご協力をお願いします。

10/1～12/31(共同募金運動推進期間)

～令和4年度・共同募金配分金事業～

令和4年度目標額 **1,388,000円**



共同募金委員会審査会(5/23)・運営委員会(5/31)において来年度の各種事業の配分計画を決定し、今年度募金の目標額を定めて募金運動を推進しています。西ノ島町で集まった共同募金は、下記の事業に配分される予定です。尚、今年も募金ボランティア連絡会において、各区長、受配団体代表者、社協理事の方々に募金運動推進にご協力頂くことになりました。各世帯へお願いに伺いましたら、皆様のご協力をお願い致します。

西ノ島町の福祉事業に…1,122,069円(募金総額の約8割)

島根県内の地域福祉事業や災害義援金に…266,000円(募金総額の約2割)

- 子育てサロン開催事業(民生児童委員協議会): 65,000円
- 赤ちゃん訪問事業(社会福祉協議会): 40,000円
- 子育て支援事業“子育てについてみんなで語ろう”(社会福祉協議会): 30,000円
- 歳末おそば配食事業(社会福祉協議会) 65,000円
- 福祉教育推進事業[社会福祉協議会(小学校・中学校)]: 80,000円
- ふれあいまつり開催事業(社会福祉協議会): 100,000円
- ボランティア活動支援事業(7団体公募事業): 350,000円
- みんなで支え合うまちづくり推進事業(7地区公募事業): 350,000円
- 地域福祉事業管理費(社会福祉協議会): 42,000円



新型コロナウイルス感染症の影響を受け、人と人が距離を取り、接触する機会を減らすことが求められたことで、我々の多くが、日常的にも誰かと繋がっていること、誰かを支えたり支えられたりしていることの大切さにあらためて気づかされました。つながることが難しい状況ではありますが、“つながりをたやさない社会”をつくるために、共同募金は大きな役割を果たしています。赤い羽根共同募金にご理解とご協力をお願いします。



令和3年度赤い羽根共同募金助成事業



ありがとうメッセージ

令和2年度に皆さんから寄せられた募金は、令和3年度の各種福祉事業に役立てられました。配分金を活用された団体等のありがとうメッセージを紹介します。

ミュージック・笑(ボランティア活動支援事業)



コロナ禍でしたが、西ノ島町の皆様と歌を歌ったり踊りを踊ったりすることが出来ました。皆様の大切な共同募金を使わせて頂き、マスクや消毒などを買わせて頂きました。感染対策を行いながら、音楽療法をさせて頂きありがとうございました。コロナ禍だからこそ、みんなで声を合わせて歌ったり、体を動かして踊ったり出来たことは、参加してくださった方には良い時間になったと思えました。コロナが終息して、気軽に歌ったり踊ったり出来る日が1日でも早く戻りますよう祈っています。

西ノ島小中学校(福祉教育推進事業)

共同募金の配分金により、コロナ禍でも感染対策を行いながら、出来る範囲で福祉教育活動を実施することが出来ました。

地域住民との交流等、地域との繋がりをもって行う活動は、児童・生徒の思いやりで福祉の心を育てる機会となり、地域の方々も子供たちとの交流を通して、学校や子供たちの様子をを知る機会となり喜ばれています。ありがとうございました。



小向区(みんなで支え合うまちづくり推進事業)



シャアラ船作りは、区民総出で取り組む伝統行事です。小向地区は中学生3名、あとは大人総出で取り組みます。8月14日、10mの2本のマストの紐(縄)に2人1組で旗をつけていきます。この時は帰省した人や初めて顔を合わせる人もいます。小さな子供も親と一緒に旗をつけます。会話も弾み、作業終わりの飲み物はとてもおいしいです。8月16日はシャアラ船流し、8月9日の風雨で横転したシャアラ船が無事に浸水できるよう皆が祈るように見つめます。浸水前に船体が傾き倒れてしまいましたが、皆で支え、船で引っ張ることで無事に立て直すことができ、周りから歓声と拍手が起こりました。この感動を皆で共有でき、募金をして下さった方に感謝を申し上げます。

表彰おめでとうございます！

～珍崎桂寿会～



令和4年度島根県社会福祉協議会会長表彰を珍崎桂寿会が受けられました。この表彰は、社会福祉活動に積極的に協力し、その功績が顕著な団体に贈られるもので、社会福祉事業の進展に資することを目的としています。栄えある受賞にお慶び申し上げ、今後のご活躍をお祈りいたします。

高齢者クラブ「社会奉仕の日」



高齢者クラブでは、老人週間を契機に地域社会に対する感謝と高齢者の活力を示す「全国一斉社会奉仕の日」に取り組んでいます。浦郷大雅クラブのみなさんが本郷の草刈りと畑の整地をして下さいました。みなさん手慣れたもので効率よく作業が終了し、立派な畑になりました。合間の休憩には本郷の利用者のみなさんと交流し知った顔もあり大変喜ばれていました。

ありがとうございました。

冬には立派な大根が収穫できますように。



本郷「敬老の日」



9月23日、敬老祝賀会が行われました。民謡クラブのみなさんにも来ていただき利用者様も終始笑顔で楽しいひと時を過ごすことができました。

民生児童委員協議会活動紹介



女性部のみなさんがつまみ細工で人形を製作されています。毎回四季折々の小物を作っており、町内のあちらこちらで見かけることがあると思います。今回も可愛い作品で出来上がりが楽しみです。



地域住民の皆さまの身近な相談役として民生委員児童委員活動に取り組んでいます。